

講義名: 博物館経営論 <秋> 曜日: 月4 担当教員名: 井上 敏		ナンバリングコード: MUSE2400 曜時2:	
研究室: 聖アンデレ館8階822号室	オフィスアワー: 事前にメールで連絡をして調整してください。基本的に月曜、水曜、木曜となります。	メールアドレス: s-inoue@andrew.ac.jp	
授業形態			
『講義』			
講義・演習概要			
この講義では①博物館の経営基盤、②博物館の経営、③博物館における連携、の3つの内容に大きく分けて行う。①では博物館経営の基盤となる基本的な組織・事柄について、②ではその基盤の上に立って行われる博物館経営の考え方について、③では自館だけでなく、他の様々な組織との連携の必要性について講義する。			
学習(到達)目標			
博物館の形態面と活動面における適切な管理・運営について基礎的な事柄を理解した上で、博物館経営(ミュージアムマネジメント)に関する基礎的能力を養う。			
講義・演習計画			
【第1回】 ガイダンス			
【第2回】 博物館の経営基盤(1)ーミュージアムマネジメントとは?			
【第3回】 博物館の経営基盤(2)ー博物館の行財政制度			
【第4回】 博物館の経営基盤(3)ー財務			
【第5回】 博物館の経営基盤(4)ー施設・設備			
【第6回】 博物館の経営基盤(5)ー博物館の組織と職員			
【第7回】 博物館の経営(1)ー博物館の使命・計画・評価			
【第8回】 博物館の経営(2)ー博物館の倫理(行動規範)			
【第9回】 博物館の経営(3)ー博物館の危機管理(1)			
【第10回】 博物館の経営(4)ー博物館の危機管理(2)			
【第11回】 博物館における連携(1)ー市民参画(友の会、ボランティア、支援組織)			
【第12回】 博物館における連携(2)ー博物館ネットワーク・他館との連携			
【第13回】 博物館における連携(3)ー博物館と他機関との連携			
【第14回】 博物館における連携(4)ー地域社会と博物館			
【第15回】 まとめ			
成績評価の方法			
試験		レポート	70%
		その他	30%
コメント	遠隔授業の場合、①M-portでの講義の中で小課題を実施し、メール等での提出とします。対面授業の場合、今後の授業運用に向けて学生の進捗状況や理解度を把握する目的でコメント欄を設けた出席カードの提出を3回求めます。理解度やこの内容に応じた点数を30点とします。(30パーセント)②最終レポートは第15回の講義終了後にメール等で提出とします(70%)。①と②を合わせて100%(100点満点)で評価します。		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
講義中、指示する。			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)			
現在の博物館を取り巻く状況を理解するために新聞やテレビのニュースをよく見ておくこと。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
博物館経営 ミュージアム・マネージメント 文化経営 独立行政法人制度 指定管理者制度 公益法人制度 危機管理			
備考(管理者用)			
(旧:博物館学各論Ⅱ)02~11生読替			